

## 都立産業技術高専荒川ジュニアサッカー大会 ～川淵三郎杯～ 競技要項

### 1 大会名

「都立産業技術高専荒川ジュニアサッカー大会 ～川淵三郎杯～」

### 2 開催目的

東京都立産業技術高等専門学校荒川キャンパスが有する人工芝のグラウンドを活用し、地元荒川区のジュニアサッカーチームによる競技大会を開催することで、次代を担う青少年の健全な育成に寄与するとともに地域への貢献を図る。

更には、大会を通じて本校の魅力を地域の皆様に発信し、もって本校の教育研究活動への理解を深めていただくことで地域に信頼される高専を目指す。

### 3 主催・共催・後援

主催 東京都立産業技術高等専門学校 荒川キャンパス

共催 荒川区サッカー協会

後援 荒川区・荒川区教育委員会

### 4 日程

平成31年3月2日（土）及び・3日（日）

### 5 会場

東京都立産業技術高等専門学校 荒川キャンパス グラウンド

東京都荒川区南千住8-17-1

### 6 対象

荒川区サッカー協会所属の小学6年生を主体とするチーム。

### 7 競技形式及び競技規則

- (1) 参加9チームを3つのブロックに振り分け、リーグ戦を行う。勝ち点の多い各ブロック上位1チームと、残り6チームの中で勝ち点の最も多いチームがワイルドカードとして上位パートに進出する。  
勝ち点と同じ場合は、i 該当の対戦結果、ii 得失点差、iii 総得点の順で順位を決定する。全て同じ場合は抽選にて決定する。
- (2) 下位パートの5チームはトーナメント戦で、敗者同士のトーナメントも行い順位を決定する。上位4チームは準決勝・3位決定戦・決勝を行い、順位を決定する。
- (3) フィールドは産技高専のピッチ（95m×64m）・大人用ゴールで行う。
- (4) 試合時間は15分ハーフとし、インターバルは5分とする。
- (5) 11人制で行い、交代選手の制限はなし（再出場も可）。また、選手の交代はアウトオブプレー時に主審の許可を得て行う。
- (6) 警告2枚（累積）で次の試合は出場停止とし、退場の場合も同様の扱いとなる。

- (7) 決勝トーナメントにおいて同点の場合は、相互3名によるPK戦にて決する。なお、決勝戦は5分ハーフで延長戦を実施し、延長戦でも決しない時は5名によるPK戦により決する。
- (8) 試合球(4号球)は協会が用意をし、主審が使用球を決定する。
- (9) 参加チームはユニフォームの様式・色彩を統一のこと。
  - ア 選手は登録された背番号のユニフォームを着用のこと。
  - イ 正・副を用意すること。
  - ウ テープなどによる背番号の修正は認めない。
- (10) 審判は、参加チームの帯同審判(有資格者)による当番制とする。
- (11) ベンチはグラウンドに向かって「タイムスケジュール表」の通りとする。
- (12) メンバー表提出は試合の30分前とする。1試合目のみ選手チェックを行い、2試合目は用具チェックのみ行う。
- (13) 選手は試合の10分前に本部付近に集合し、チェックを受ける。
- (14) ゴール裏のボールボーイは試合のないチームで担当する(当番制)。
- (15) 以下の場合、出場ないしは試合参加を取り消すことがある。
  - ア 登録外選手が出場した場合。
  - イ チームに割り当てられた審判を行わなかった場合。

## 8 表彰

- 1位から4位までを表彰する。
- 全チームが閉会式(15:40を予定)に参加する。

## 9 雨天時における開催について

- 開催の可否は主催者、共催者において協議の上決定する。
- 開催不可と判断した場合には協会から各チームに中止の連絡をすることとし、順延はしない。

## 10 その他

- (1) 会場への車の乗り入れは、協会の許可車両のみとする。それ以外の参加者等は近くのコインパーキングをご利用下さい。
- (2) 自転車は校舎1階の駐輪場を利用すること。(校門付近に置かない)
- (3) 昼食については決められた場所の範囲で適宜とることとする。校舎2階の食堂も利用可。
- (4) ピッチ内では、水以外の飲み物は禁止。
- (5) ごみ等は各自で持ち帰ること。
- (6) 競技中の事故については、当該チームが責任をもって処置すること。各チームにおいて、事前にスポーツ傷害保険に加入すること。
- (7) 貴重品等の管理については各チームが責任をもって対応すること。